

業績

2008年1月～12月

表彰

<医学教育賞(懸田賞)>

高屋敷明由美. 医学教育振興財団, 7月, 2008

<最優秀症例賞>

塩谷清司, 早川秀幸, 菊地和徳, 河野元嗣, 鈴木将玄:筑波山登山中急死した30歳代男性. 第31回茨城県画像診断研究会, 10月, 2008

<『日獨医報』Best Paper Award 2008>

塩谷清司, 菊地和徳, 早川秀幸, 阪本奈美子, 上野幸廣, 阿竹茂, 河野元嗣, 鈴木将玄, 齋藤創, 糸屋沙央梨, 瀬尾芳子, 小林智哉, 五月女康作, 加賀和紀, 宮本勝美:Autopsy imaging－日本医学放射線学会が日本医師会宛に提出した「死亡時画像診断に関する意見書」に沿った解説－. 日獨医報, 53(3・4), 130-154(440-464), 2008

原著

Yamada K, Maeno T, Waza K, Sato T: Under-diagnosis of alcohol-related problems and depression in a family practice in Japan. Asia Pacific Family Medicine 7(1):3, 2008

Yamagishi A, Morita T, Miyashita M, Akizuki N, Kizawa Y :Palliative Care in Japan: Current Status and a Nationwide Challenge to Improve Palliative Care by the Cancer Control Act and the Outreach Palliative Care Trial of Integrated Regional Model (OPTIM) Study. Am J Hosp Palliat Care Oct-Nov 25(5) :412-8, 2008

Seiji Shiotani, Masanari Shiigai, Yukihiko Ueno, Namiko Sakamoto, Shigeru Atake, Mototsugu Kohno, Masatsune Suzuki, Hiroshi Kimura, Kazunori Kikuchi, Hideyuki Hayakawa:Postmortem computed tomography findings as evidence of traffic accident-related fatal injury, Radiat Med, 26(5):253-260, 2008

Sanjo M, Miyashita M, Morita T, Hirai K, Kawa M, Ashiya T, Ishihara T, Miyoshi I, Matsubara T, Nakaho T, Nakashima N, Onishi H, Ozawa T, Suenaga K, Tajima T, Hisanaga T, Uchitomi Y: Perceptions of specialized inpatient palliative care: a population-based survey in Japan. J Pain Symptom Manage 35:275-82, 2008

前野哲博, 中村明澄, 前野貴美, 小崎真規子, 木村琢磨, 富田絵梨子, 笹原信一郎, 松崎一葉 : 新臨床研修制度における研修医のストレス . 医学教育 39(3):175-182, 2008

木村琢磨, 前野哲博, 小崎真規子, 大滝純司, 松村真司, 尾藤誠司, 青木誠 : わが国における研修医のストレス反応とストレス緩和要因の探索およびストレス理論モデルの作成 . 医学教育 39(3):169-174, 2008

谷口和樹, 笹原信一郎, 前野哲博, 吉野聡, 友常祐介, 富田絵梨子, 宇佐見和哉, 林美貴子, 道喜将太郎, 中村明澄, 松崎一葉 : 臨床研修病院における指導医の労働実態およびメンタルヘルスに関する研究 . 医学教育 39(5):305-311, 2008

道喜将太郎, 吉野聡, 笹原信一郎, 谷口和樹, 友常祐介, 富田絵梨子, 宇佐見和哉, 林美貴子, 中村明澄, 前野哲博, 松崎一葉 : 卒後臨床研修必修化の前後における研修医のメンタルヘルスの変化に関する検討 . 医学教育 39(6):381-386, 2008

前野貴美, 中泉博幹, 豊島 元, 吉田 清, 津田 司, 小林 廉毅 : 本態性高血圧症の外来診療において患者満足度と関連する要因の検討. 日本プライマリ・ケア学会誌 31(4):220-228, 2008

堤明人, 高屋敷明由美, 後藤大輔, 松本功, 伊藤聡, 森田倫子, 大塚藤男, 中山凱夫, 住田孝之 : 初診患者エスコート実習の学生・患者双方への影響 . 医学教育 39(1):1-11, 2008

皆川頼一, 前田裕史, 美崎昌子, 羽鳥光晴, 石川公人, 岡部裕一, 宮崎邦彦, 際本拓未, 松村壮, 野村明広, 関正則, 飯塚正: 四肢麻痺を呈した38歳男性の1例. 茨城県農村医学会雑誌 21:11-13, 2008

総 説

前野哲博 : 日常診療のピットフォール 57歳、男性。胸痛 . 日経メディカル 37(4):133-135, 2008

前野哲博 : 日常診療のピットフォール 70歳、男性、下肢痛、発熱、開口障害. 日経メディカル 37(8):126-128, 2008

栗原宏, 前野哲博, 栗原陽子 : 循環器疾患が疑われたときの診断の進め方 初診時に、何を聞き、どこを診察するか 動悸・めまい・失神. Medicina 45(4):589-592, 2008

中安浩介, 前野哲博 : 一般医が知っておくべき診察法 頭頸部のみかた. 診断と治療 96(4):667-673, 2008

廣瀬知人, 前野哲博 :【医師に必要な臨床栄養学】栄養療法の重要性を再認識させられた症例.
Journal of Integrated Medicine 18(11):940-941, 2008

木澤義之 :【臨床と研究に役立つ緩和ケアのアセスメント・ツール】その他の評価とツール 緩和ケア
初診時データセット . 緩和ケア 18(10):149-156, 2008

木澤義之 :緩和ケア【これからの10年をみつめる】研究プロジェクト 緩和ケアに関する教育 . 緩和
医療学 10(3):229-234, 2008

久永貴之, 志真泰夫, 長岡広香, 木澤義之 :【がん患者の消化器症状マネジメント】消化器症状の医
学的治療 消化管閉塞の緩和 酢酸オクトレオチド . がん看護 13(2):255-260, 2008

木澤義之, 河正子, 梅田恵:緩和ケアの進化とサービスのあり方. 看護管理 18:536-542, 2008

鈴木将玄:禁煙と生活習慣指導. 心臓 40(12):1146-1148, 2008

塩谷清司, 菊地和徳, 早川秀幸, 阪本奈美子, 上野幸廣, 阿竹茂, 河野元嗣, 鈴木将玄, 齋藤創, 糸
屋沙央梨, 瀬尾芳子, 小林智哉, 五月女康作, 加賀和紀, 宮本勝美:Autopsy imaging－日本医学放
射線学会が日本医師会宛に提出した「死亡時画像診断に関する意見書」に沿った解説－. 日獨医報
53(3・4):130-154(440-464), 2008

長岡広香:死に臨んだ時の家族のサポート、終末期の家族のケアの実際～病棟医の立場から～. 緩和
ケア 18:2008

久永貴之 :癌消化器症状(嘔気・嘔吐・消化管閉塞・便秘)のマネジメント, 日本在宅医学会雑誌 10
(1):80-84, 2008

荒牧まいえ, 人見重見:この症例に、この処方－各種抗菌薬の実際的な使い方－ 抗 HIV 薬. Medical
Practice 25(5): 881-5: 2008

栗原宏, 人見重美:敗血症治療における抗菌薬の使い方. 内科 102(5):874-877, 2008

阪本直人:特集 医師のためのビジネス・スキル ウェブ 2.0 の活用. JIM 18:1008-1010, 2008

著 書

前野哲博 : Dr.前野のみんなの症候診断検定(web). ケアネット, 東京,2008

木澤義之, 森田達也(編) : 2008 年版 がん緩和ケアガイドブック. 日本医師会(監修), 青海社, 東京, 2008

森田達也, 木澤義之, 戸谷美紀 (編) : 緩和ケアチームの立ち上げ方・進め方. 青海社, 東京, 2008

木澤義之, 梅田 恵, 新城拓也, 森田達也, 的場元弘 (編) : ステップ緩和ケア 緩和ケア普及のための地域プロジェクト(厚生労働科学研究 がん対策のための戦略研究)

平成 19 年度厚生労働省科学研究費補助金第 3 次対がん総合戦略研究

「緩和ケアプログラムによる地域介入研究」臨床教育プログラム委員会(編), 2008

木澤義之, 梅田 恵, 新城拓也, 森田達也, 的場元弘 (編) : ステップ緩和ケア 付録—ツール・資料— 緩和ケア普及のための地域プロジェクト(厚生労働科学研究 がん対策のための戦略研究)

平成 19 年度厚生労働省科学研究費補助金第 3 次対がん総合戦略研究

「緩和ケアプログラムによる地域介入研究」臨床教育プログラム委員会(編), 2008

井関雅子, 木澤義之, 的場元弘, 森田達也(編) : 2008 年度版 がん性疼痛治療のエッセンス. 日本医師会(監修), 青海社, 東京, 2008

栗原陽子, 人見重美 : 採血で指に針刺し. 患者さんが「何とか肝炎と言われたことがあります…」どうする? 朝田隆, 山口登, 堀孝文(編), 精神科トラブルシューティング, 中外医学社, 東京, 2008:37-41

学会発表

Kizawa Y : Education for Palliative Care Team (E-PCT) Project – The Nation Wide Project to Improve Palliative Care in Every Regional Cancer Centre in Japan . 17th International Congress on Palliative Care (Canada), Sept, 2008

Hisanaga T, Sinjyo T, Morita T, Nakajima N, Tanimizu M, Kizawa Y, Maeno T, Shima Y, Hyodo I : Efficacy of Octreotide Acetate for Malignant Gastrointestinal Obstruction . 33rd ESMO (European Society for Medical Oncology) Congress , Stockholm Sweden, September, 2008

前野哲博 : 筑波大学附属病院総合医コース . 第 16 回日本総合診療医学会学術集会, 名古屋, 3 月, 2008

渡辺あずさ, 山内孝義, 田中喜美夫, 小宅康之, 原田匡一, 佐藤陽子, 菊池教大, 栗原陽子, 前野哲博 :敗血症性肺塞栓症の2例 . 第553回 日本内科学会関東地方会 , 東京, 5月, 2008

栗原宏, 河村由吏可, 高木麻理子, 高屋敷明由美, 前野貴美, 前野哲博 :地域医療実習が学生の将来の進路選択に与える影響 . 第31回 日本プライマリ・ケア学会学術会議 , 岡山, 6月, 2008

河村由吏可, 前野哲博, 前野貴美 :指導医講習会の有用性についての追跡調査 . 第40回日本医学教育学会大会 , 東京, 7月, 2008

前野貴美, 高屋敷明由美, 安梅勅江, 前野哲博, 長田道夫, 原 晃 :多職種学生合同チーム医療教育プログラム「ケア・コロキウム」の教育効果—第2報— . 第40回日本医学教育学会大会 , 東京, 7月, 2008

高木麻理子, 河村由吏可, 栗原宏, 前野哲博, 高屋敷明由美, 前野貴美 :地域医療実習が医学生の進路選択に与える影響 . 第40回日本医学教育学会大会 , 東京, 7月, 2008

小川良子, 前野哲博, 高屋敷明由美, 瀬尾恵美子, 松村明 :臨床研修の経験目標からみた医学生の臨床経験の現状 . 第40回日本医学教育学会大会 , 東京, 7月, 2008

瀬尾恵美子, 前野哲博, 小川良子, 山田麻紀, 松村明 :女性医師に対して行ったキャリア支援に関するアンケート調査結果 . 第40回日本医学教育学会大会 , 東京, 7月, 2008

五十野博基, 高木博, 端山幹大, 高屋敷明由美, 前野哲博 :異物により嚥下困難をきたした一例 . 第32回茨城県救急医学会 , つくば, 9月, 2008

前野哲博:指導医シンポジウム パネルディスカッション「プライマリ・ケアを指導するには」(総合司会). 茨城県指導医シンポジウム, つくば, 9月, 2008

木澤義之 :緩和ケアの均てん化と専門化:教育の現状と将来像 . 第13回日本緩和医療学会総会 , 静岡, 7月, 2008

木澤義之 : 緩和ケアの現状と課題 . 第57回日本農村医学会学術総会 , つくば, 11月, 2008

久永貴之, 新城拓也, 山田理恵, 中島信久, 前野貴美, 森田達也, 木澤義之, 志真泰夫, 兵頭一之介 :がんによる消化管閉塞に対する酢酸オクトレオチドの治療効果(主観的指標)に関する研究. 第13回日本緩和医療学会, 静岡, 7月, 2008

久永貴之, 馬場玲子, 櫻井環, 入江佳子, 東健二郎, 長岡広香, 木澤義之, 志真泰夫: 緩和ケア病棟からの訪問診療の現状と課題～地域緩和ケアコンサルテーションへ向けて～. 第 13 回日本緩和医療学会, 静岡, 7 月, 2008

馬場玲子, 久永貴之, 櫻井環, 入江佳子, 木澤義之: がん患者の療養の場の選択における緩和ケアチームの役割～介入ケースの転帰とそれに関連する要因の探索. 第 13 回日本緩和医療学会, 静岡, 7 月, 2008

櫻井環, 馬場玲子, 久永貴之, 入江佳子, 木澤義之: 「筑波大学附属病院緩和ケアチームの病棟と外来を繋ぐ取り組み～婦人科外来定期カンファレンスを開始して」、第 13 回日本緩和医療学会, 2008.7.4, 静岡

菅ヶ谷純一, 鈴木将玄, 阿竹 茂, 河野元嗣: 上腸間膜動脈解離・腹腔動脈解離の2症例. 第 23 回日本家庭医療学会学術集会, 東京, 6 月, 2008

石丸直人, 上野幸廣, 阪本奈美子, 阿竹 茂, 河野元嗣, 菅ヶ谷純一, 有田圭介, 鈴木将玄: 急性腹症を呈したズボンのゴムの圧迫による大網梗塞、大網炎の一例. 第 31 回日本プライマリ・ケア学会学術会議, 岡山, 6 月, 2008

石丸直人, 上野幸廣, 阪本奈美子, 阿竹 茂, 河野元嗣, 菅ヶ谷純一, 有田圭介, 鈴木将玄: IVR による診断治療後大腸菌血症を合併した腹腔動脈起始部圧迫症候群(CACS)による膵十二指腸動脈瘤破裂の一例. 第 36 回日本救急医学会総会・学術集会, 札幌, 10 月, 2008

上野幸廣, 菅ヶ谷純一, 河野元嗣, 阿竹茂, 益子一樹, 小林忠宏, 佐藤哲哉, 鈴木将玄, 内田里実, 曾子美知江, 木澤晃代, 菊池妙子: 当院救急外来でのナーストリアージシステムの評価と今後の課題. 第 36 回日本救急医学会総会・学術集会, 10 月, 2008

河野元嗣, 阿竹茂, 鈴木将玄, 上野幸廣, 益子一樹, 新井晶子, 小林忠宏, 佐藤哲哉: 臨床研修に効果的な救急診療体制の構築. 第 36 回日本救急医学会総会・学術集会, 10 月, 2008

塩谷清司, 椎貝真成, 伊藤祐太, 上野幸廣, 阪本奈美子, 阿竹茂, 河野元嗣, 鈴木将玄, 木村泰, 早川秀幸: 非外傷性死後 CT 上の脳血管内ガス像は、心肺蘇生術後変化として説明できる. 第 67 回日本医学放射線学会総会, 4 月, 2008

五十嵐淳, 菅ヶ谷純一, 鈴木将玄: 繰り返す細菌性髄膜炎の1例. 第 554 回日本内科学会関東地方会, 6 月, 2008

廣瀬由美, 鈴木將玄, 有田圭介, 菅ヶ谷純一: 胃腸炎を契機に炭酸リチウム中毒による意識障害を呈した1例. 第 559 回日本内科学会関東地方会, 12 月, 2008

塩谷清司, 早川秀幸, 菊地和徳, 河野元嗣, 鈴木將玄: 筑波山登山中急死した 30 歳代男性. 第 31 回茨城県画像診断研究会, 10 月, 2008

長岡広香, 金久保睦美, 久永貴之, 東健二郎, 志真泰夫: 皮下輸液の具体的方法とその安全性の検討. 第 13 回日本緩和医療学会, 静岡, 7 月, 2008

長岡広香: 皮下輸液の有効性と安全性の検討. 第 13 回日本緩和医療学会, 静岡, 7 月, 2008

東健二郎, 金久保睦美, 久永貴之, 長岡広香, 根本清貴, 志真泰夫: 終末期せん妄に対する Levomepromazine 持続皮下注射の安全性. 第 13 回日本緩和医療学会, 静岡, 7 月, 2008

須田さと子, 長岡広香他: 写真展を活用した遺族会の試み. 第 32 回日本死の臨床研究会, 10 月, 2008

武田裕子, 大滝純司, 高橋都, 甲斐一郎, 稲福徹也, 高屋敷明由美, 安井宏樹, 奥野正孝: 医学生における診療科ならびに診療地域選択の背景因子に関する研究. 第 40 回日本医学教育学会大会, 東京, 7 月, 2008

有田圭介, 藤原和哉, 西雅明, 松田健二: 多発骨転移による症状で発症した S 状結腸癌の 1 例. 第 301 回日本消化器病学会関東支部例会, 9 月, 2008

栗原陽子, 小金丸博, 人見重美: つくば・土浦地区で血液から分離された ESBL 産生株の解析. 第 57 回日本感染症学会東日本地方学術集会第 55 回日本化学療法学会東日本支部総会合同学会, 10 月, 2008

高木博, 藤田恒夫: 一過性に脳梁膨大部病変をきたしたウィルス性脳炎の一例. 第 184 回茨城県内科学会, 水戸, 6 月, 2008

班研究報告

木澤義之: がん医療の均てん化に資する緩和医療に携わる医療従事者の育成に関する研究.

厚生労働科学研究費補助金 がん臨床研究事業

がん医療の均てん化に資する緩和医療に携わる医療従事者の育成に関する研究

平成 19 年度 総括・分担研究報告書

木澤義之:分担研究報告書 患者情報共有のための記録フォーマットの開発,
厚生労働科学研究費補助金 がん臨床研究事業
地域に根ざしたがん医療システムの展開に関する研究
平成 19 年度 総括・分担研究報告書, 24-25

講演・講義

前野哲博 :理念?道具?EBM (応用編). みさと健和病院 講演会, 埼玉, 1 月, 2008

前野哲博 :新臨床研修制度における指導医の役割. 東京都立府中病院 講演会, 東京, 1 月, 2008

前野哲博 :研修医のメンタルヘルスケア. 平成 19 年度近畿ブロック臨床指導医養成講習会, 大阪, 1 月, 2008

前野哲博 :医療者のメンタルヘルスケア. 日本予防医学リスクマネジメント学会 第 6 回学術総会, 静岡, 3 月, 2008

前野哲博 :臨床研修におけるメンタルケア 一卒後研修センターではどのように取り組んだらよいか(ワークショップ). 第 28 回医学教育セミナーとワークショップ, 大阪, 5 月, 2008

前野哲博 :臨床研修におけるメンタルヘルス(講演). 第 28 回医学教育セミナーとワークショップ, 大阪, 5 月, 2008

前野哲博 :医療者のメンタルヘルス.
平成20年度 第1回病院長研修, 埼玉, 6 月, 2008
平成20年度 第2回病院長研修, 埼玉, 10 月, 2008

前野哲博, 阪本直人, 堤円香 :健康寿命をのばそう! ~家庭医にできる介護予防の介入と実践~. 第 23 回日本家庭医療学会ワークショップ, 東京, 6 月, 2008

前野哲博, 高屋敷明由美 : 筑波大学における医学教育の実際. 筑波大学 医学教育フォーラム, つくば, 7 月, 2008

前野哲博 :地域定着プログラムの導入 . 第 40 回日本医学教育学会大会 ワークショップ, 東京, 7 月, 2008

前野哲博 : 医学教育における教えない教育. ラーニング・フォーラム, 福岡, 8 月, 2008

前野哲博 : 夏期セミナーのこれまでと今後の展望. 第 20 回医学生・研修医のための家庭医療学夏期セミナー, 新潟, 8 月, 2008

阪本直人, 前野哲博 : あなたが変わる。自分で変わる。～行動科学的アプローチから～. 第 20 回医学生・研修医のための家庭医療学夏期セミナー, 新潟, 8 月, 2008

前野哲博 : 大学病院における初期研修指導. 岐阜大学臨床指導医講習会, 岐阜, 9 月, 2008

前野哲博 : Evidence-Based Medicine. 弘前大学医学部講演会, 青森, 11 月, 2008

前野哲博 : 研修医のストレス. 平成 20 年度若手医師ステップアップ研修会, 島根, 12 月, 2008

前野哲博 : 講習会タスクフォース.

第 9 回全国済生会臨床研修指導医のためのワークショップ, 栃木, 2 月, 2008

第 1 回郡山地区指導医養成講習会, 郡山, 11 月, 2008

前野哲博 : 講習会ディレクター・チーフタスクフォース.

茨城県指導医養成講習会, 阿見, 2 月, 2008

筑波大学指導医養成講習会, つくば, 3 月, 2008

茨城県指導医養成講習会, つくば, 6 月, 2008

和歌山県医師臨床研修指導医講習会, 和歌山, 9 月, 2008

茨城県指導医養成講習会, 水戸, 10 月, 2008

鳥取大学指導医講習会, 鳥取, 10 月, 2008

群馬県臨床研修指導医養成講習会, 群馬, 11 月, 2008

木澤義之 : 最近の緩和医療の動向 ～包括的がん医療と地域緩和ケアネットワーク～. 最近の緩和医療の動向, 松戸, 1 月, 2008

木澤義之 : 緩和ケアチームの機能とその役割. 緩和ケア懇話会, 埼玉, 1 月, 2008

木澤義之 : 平成 19 年度がん診療連携拠点病院緩和チーム・ワークショップ講師. 平成 19 年度第 2 回がん診療連携拠点病院緩和チーム・ワークショップ, 大阪, 1 月, 2008

木澤義之 : 平成 19 年度がん診療連携拠点病院緩和チーム・ワークショップ講師. 平成 19 年度第 3 回がん診療連携拠点病院緩和チーム・ワークショップ, 福岡, 2 月, 2008

木澤義之 : 公衆衛生の視点からがん医療をとらえなおす. ヤンセンファーマ株式会社社内勉強会, つくば市, 2月, 2008

木澤義之 : がん性疼痛の緩和と地域緩和ケア. がん性疼痛治療講演会, 金沢, 2月, 2008

木澤義之 : 地域におけるがん医療の展開と緩和ケア . 第17回茨城がん学会 , 水戸, 2月, 2008

木澤義之 : 緩和ケア総論: 症状アセスメントを中心に. 平成19年度がん医療研修会, 千葉, 2月, 2008

木澤義之 : 緩和ケア医からみた緩和ケアチーム運営のコツと緩和ケアチーム教育プログラム(EPEC-O). がん患者の苦痛緩和学術講演会, 広島, 3月, 2008

木澤義之 : がん性疼痛の緩和と地域緩和ケアネットワーク. ひたちなか市医師会学術講演会, 茨城, 3月, 2008

木澤義之 : 呼吸器症状・呼吸困難. 茨城県緩和セミナー, 水戸, 3月, 2008

木澤義之 : 緩和ケアチーム講習会ファシリテーター. 緩和ケアチームのための講習会, 千葉, 3月, 2008

木澤義之 : 臨床プログラムワークショップ. 臨床プログラムワークショップ, 長崎, 4月, 2008

木澤義之 : 臨床教育プログラムツールの実際の使用法. 臨床教育プログラムワークショップ, 長崎, 4月, 2008

木澤義之 : がん性疼痛と地域に根ざした緩和医療. 第3回 Cancer Pain 研究会, 福岡, 5月, 2008

木澤義之 : 「医の倫理Ⅱ」. 平成20年度滋賀医科大学講義 医の倫理Ⅱ , 滋賀, 5月, 2008

木澤義之 : がん緩和ケア概念と地域における緩和ケアへの展開. 秋田大学緩和ケア研修会, 秋田, 5月, 2008

木澤義之 : 「緩和ケアチームの継続的な活動・活動の広がりや早期・診断期からのチームの関わり～最近の緩和医療関連の話題も含めて～」. 大阪がん緩和ネット研究会, 大阪, 5月, 2008

木澤義之 : 「出来てよかった難病・相談支援センター」. 茨城県難病団体連絡協議会第26回総会 第2部講演会, 水戸, 5月, 2008

木澤義之 :安楽死と尊厳死. 平成 20 年度筑波大学公開講座 「医療と現代社会」, つくば, 5 月, 2008

木澤義之 :緩和ケアセミナーNAGANO2008 ファシリテーター. 緩和ケアセミナーNAGANO2008, 長野, 6 月, 2008

木澤義之 :がん性疼痛の緩和と地域緩和ケアネットワーク. 第 3 回阿賀北地区緩和ケア勉強会, 新潟, 6 月, 2008

木澤義之 :シンポジウム S7 院内でつなげる緩和医療①:緩和ケアチーム準備期から立ち上げ期の課題と対応 . 第 13 回日本緩和医療学会総会 , 静岡, 7 月, 2008

木澤義之 :シンポジウム S8 院内でつなげる緩和医療②:緩和ケアチーム活動期の課題と対応 . 第 13 回日本緩和医療学会総会 , 静岡, 7 月, 2008

木澤義之 :シンポジウム S3 緩和ケアの均てん化と専門化:教育の現状と将来像:緩和ケアチーム活動期の課題と対応 . 第 13 回日本緩和医療学会総会 , 静岡, 7 月, 2008

木澤義之, 久永貴之, 馬場玲子, 桜井環, 入江佳子 :緩和ケア 緩和ケアチームと地域緩和ケア その概念と役割 . 第 42 回日本ペインクリニック学会総会 , 福岡, 7 月, 2008

木澤義之 :患者さんと歩むがん医療. Clinical Oncology Symposium 2008, 東京, 7 月, 2008

木澤義之 :緩和医療に携る薬剤師として. 薬剤師会研修会, 水戸, 7 月, 2008

木澤義之 :早期疼痛管理と早期オピオイド使用の有用性. 緩和医療に関する学術講演会, 諏訪, 8 月, 2008

木澤義之 :緩和ケアチームの機能とその役割. 県南 Cancer Pain Management 懇話会, 郡山, 9 月, 2008

木澤義之 :疼痛緩和のポイントとコツ. がん医療に携わる疼痛緩和のためのスキルアップセミナー, つくば, 9 月, 2008

木澤義之 :がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会. 茨城県緩和ケア研修会, つくば, 10 月, 2008

木澤義之 :緩和ケア指導者研修会 ファシリテーター. 緩和ケア基本教育のための指導者研修会, 神戸, 10月, 2008

木澤義之 :癌の臨床経過と緩和ケアについて. 2008年度心理職のためのサイコオンコジー研修会, 東京, 10月, 2008

木澤義之 :地域連携と治療・療養の場の選択. がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会, つくば, 10月, 2008

木澤義之 :平成20年度 がん診療連携拠点病院 緩和ケアチーム研修会 講義およびワークショップ
ファシリテーター. 平成20年度 がん診療連携拠点病院 緩和ケアチーム研修会, 東京, 11月, 2008

木澤義之 :緩和ケアの現状と今後の展望. 第12回 熊本 Cancer Pain Forum, 熊本, 11月, 2008

木澤義之 :在宅医療概論. 平成20年度認定看護師教育課程 訪問看護学科講義, 東京, 11月, 2008

木澤義之 :第7回ペインカンファレンス 座長. 第7回ペインカンファレンス, 大阪, 11月, 2008

木澤義之 :がん対策推進基本計画に基づく緩和ケア研修の今後について. がん疼痛治療の均てん化の促進を考える学術講演会, つくば, 11月, 2008

木澤義之 :地域全体で取り組むホスピス・緩和ケア (講義). いのちを考える-医療の原点を見つめて-, 千葉, 12月, 2008

木澤義之 :地域連携と治療・療養の場の選択. 平成20年度茨城県緩和ケア研修会, 水戸, 12月, 2008

木澤義之 :日本緩和医療学会 PEACE プロジェクト緩和ケア指導者研修会における講師およびグループワークのファシリテーター. 日本緩和医療学会 PEACE プロジェクト緩和ケア指導者研修会, 千葉, 12月, 2008

木澤義之 :緩和医療. 平成20年度筑波大学公開講座 「医療と現代社会」, つくば, 2008

前野貴美 : EBM の実践. 東京医科大学霞ヶ浦病院EBMレクチャー, 阿見, 8月, 2008

前野貴美 :筑波大学での医療人教育の試み 特色 GP「チーム医療実践力育成プログラム」の経験. 第1回藤田保健衛生大学医学・医療教育ワークショップ , 名古屋, 10月, 2008

前野貴美 :筑波大学医学群「チーム医療実践力育成プログラム」における評価. 特色ある大学教育支援プログラム「多専攻学生による模擬体験型チーム医療実習」シンポジウム , インタープロフェSSIONナル教育(IPE)における評価, 前橋, 12月, 2008

鈴木将玄:糖尿病のお話(第2話)～インスリンを上手に使おう～. 筑波メディカルセンター病院研修医勉強会, つくば, 3月, 2008

長岡広香:講師. 日本緩和医療学会緩和ケア研修会指導者講習会, 9月, 2008

長岡広香:皮下輸液、持続皮下注射の実際. つくば緩和ケアカンファレンス, 11月, 2008

高屋敷明由美:筑波大学医学群におけるチーム医療実践力育成プログラム. チーム医療教育とネットワーク, 前橋, 2月, 2008

高屋敷明由美:指導医養成講習会タスクフォース. 茨城県指導医養成講習会, つくば, 6月, 2008

高屋敷明由美:医学教育における女性医師の働き方～自分の経験からの提言. 第40回日本医学教育学会大会シンポジウム「女性医師のキャリア支援」, 東京, 7月, 2008

高屋敷明由美: PBL meets simulation～筑波大学の取り組み. 第29回 MEDC 医学教育セミナーとワークショップ. PBL meets simulation～テュートリアル教育の進化をめざして～ , 8月, 2008

高屋敷明由美:家庭医の家庭. 第20回家庭医療学夏期セミナー, 新潟, 8月, 2008

高屋敷明由美:PBL テュートリアルとは?そのねらいと実際～筑波大学の医学教育における経験から. 筑波医療技術大学, 11月, 2008

高屋敷明由美:タスクフォース. 日本医学教育学会生命科学小委員会第3回PBLセミナー, 東京, 12月, 2008

高屋敷明由美: Medical Education in University of Tsukuba. 浙江大学(中国)視察団との交流会, 12月, 2008

河村由吏可:茨城県指導医講習会タスクフォース. 茨城県指導医養成講習会, 阿見, 2月, 2008

茨城県指導医養成講習会, つくば, 6月, 2008

和歌山県医師臨床研修指導医講習会, 和歌山, 9月, 2008

栗原宏:身体診察法. 尾道市民病院, 2月, 2009

久永貴之:「がん性疼痛のマネジメント基礎編」. 第4回つくば緩和ケアカンファレンス, 1月, 2008

久永貴之:「痛みの症状マネジメント」. 緩和ケア実践セミナー, 松本, 1月, 2008

久永貴之:「がん性疼痛のマネジメント応用編」. 第5回つくば緩和ケアカンファレンス, 3月, 2008

久永貴之:「消化器症状(嘔気・嘔吐・消化管閉塞)のマネジメント」. 鹿児島緩和ケア・ネットワーク特別講演会, 鹿児島, 3月, 2008

久永貴之:ランチョンセミナー「癌消化器症状(嘔気・嘔吐・消化管閉塞・便秘)のマネジメント」. 第10回在宅医学会, 静岡, 3月, 2008

久永貴之:「せん妄」. 第6回つくば緩和ケアカンファレンス, 5月, 2008

久永貴之:オクトレオチド研究結果報告会. サンドスタチン研究会, 東京, 6月, 2008

久永貴之:ファシリテーター. PEACE 指導者研修会, 船橋, 9月, 2008,

久永貴之:ファシリテーター. PEACE 茨城県緩和ケア研修会, つくば, 10月, 2008

久永貴之:ファシリテーター. PEACE 指導者研修会, 神戸, 10月, 2008

久永貴之:「癌性疼痛管理指導料について」. つくば, 12月, 2008

阪本直人:「いばらき地域医療研修ステーションの役割」, 第13回全国首長連携交流会第3分科会「医療・福祉」, 東京, 5月, 2008

阪本直人:地域を守る医師の日常 ～家庭医のおしごと～. 順天堂大学地域保健学, 6月, 2008

阪本直人:指導医に必要な web2.0 Tool 使いこなし術 ～コラボレーションとピアサポート～.

HANDS-FDF2008 (Home and Away Nine Days - Faculty Development Fellowship), 7 月, 2008

阪本直人:『家庭医の視点からのヘルスプロモーション』. 第6回日本ヘルスプロモーション学会学術大会・総会, 茨城, 12 月, 2008

阪本直人:たばこの話. 喫煙予防教室

波崎第 2 中学校, 11 月, 2008

大野原西小学校, 11 月, 2008

柳川小学校, 11 月, 2008

息栖小学校, 11 月, 2008

浜野 淳:日本プライマリ・ケア学会茨城支部学術集会シンポジスト. つくば, 3 月, 2008

浜野 淳:第3回医療従事者研修会講師. 痰の吸引を安全に行うための研修会, 桜川, 3 月, 2008

浜野 淳:ファシリテーター. PEACE-NAGANO 2008, 佐久, 6 月, 2008

浜野 淳:「地域デス・カンファレンス」ファシリテーター. 平成 20 年度第 2 回茨城県南部・西部緩和ケア地域連携会議, つくば, 7 月, 2008

浜野 淳:ファシリテーター. PEACE プロジェクト 緩和ケア指導者研修会ファシリテーター打ち合わせ会, 東京, 7 月, 2008

浜野 淳:顔の見える地域連携. 桜川市ケアマネ会, 桜川, 7 月, 2008

浜野 淳:緩和ケア指導者講習会講師. 日本緩和医療学会 PEACE プロジェクト, 船橋, 9 月, 2008

浜野 淳:生と死を考える～緩和医療と臨床倫理～ 「在宅医療」. 筑波大学総合科目, つくば, 10 月, 2008

浜野 淳:在宅緩和ケアの現状. 平成 20 年度茨城県薬剤師在宅緩和ケア研修会, 土浦, 11 月, 2008

浜野 淳:ファシリテーター・講師. 茨城県緩和ケア研修会, 水戸, 12 月, 2008

取材記事・新聞等

前野哲博:これからの開業医像を探る. 茨城保険医新聞 2008年1月15日 4面5面

前野哲博:壊れる理由を探せ. 壊れゆく医師たち 2008年2月28日 40-54

前野哲博:医師「過労死」の深刻度 (上野玲). 読売ウイークリー 2008年3月16日 18-19

前野哲博: 医師不足の解決には総合医育成が鍵に. EH excellent hospital 3, 2008

木澤義之:TOP RUNNER. Cancer Pain Management 2008

木澤義之:早期からの緩和ケア～がんと上手に付き合う～. NHK 教育テレビ 2008年2月9日

鈴木将玄:カリスマ医師の神ワザ8「床ずれ」. 日刊ゲンダイ, 2008年2月28日, 13面

鈴木将玄:動脈硬化診療(11) 禁煙と生活習慣指導, ラジオ NIKKEI 心臓財団虚血性心疾患セミナー
実地医家のための動脈硬化診療 2008 第505回, 2008年6月3日

高屋敷明由美 :今できる役割を全力で果たす .
JAMIC JOURNAL 28, 2008

河村由吏可:女性医師リレーエッセイ. いばらきの地域医療 2008年3月3面

五十嵐淳, 河村由吏可:医師不足地域で活躍する研修医. いばらきの地域医療 第12号 2008年6月

久永貴之:酢酸オクトレオチドは腹部症状を有意に改善. 日経メディカル Cancer Review 2008年12月
23面

久永貴之:2008 ESMO 学会速報 わが国の多施設共同研究から得られた支持療法における Evidence.
ノバルティスファーマ 2008年11月

阪本直人:NHK 水戸「いばらきわいわいスタジオ」喫煙予防教育. NHK 総合テレビ 2008年11月20日